

第二十三回帝國議會 衆議院 癩豫防ニ關スル法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十年二月二十日午前十時五十九分開議

出席委員左ノ如シ

山根 正次君

西山 彰君

淺野 順平君

鳥山 敬二郎君

初木 卿太郎君

北畠 具雄君

竹村 良貞君

出席政府委員左ノ如シ

內務省衛生局長 窪田靜太郎君

內務省參事官 杉山四五郎君

內務技師 野田 忠廣君

司法省監獄事務官 小河滋次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

癩豫防ニ關スル法律案

○委員長(山根正次君) ソレデハ是ヨリ開會ヲ致シマス

○淺野順平君 此本案ヲ立テラレタ政府ノ趣意ハ、豫防ノコトニ付イテデアリマスルガ、此傳染病豫防ニ付イテハ其他ニ肺結核ナド、云フモノハ、私共ノ聞クトコロニ依レバ、癩病ヨリ今一層傳染ノ虞ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、政府ニ於テハソレヲ措イテ癩病ヲ先キニシナケレバナラヌト云フノデアルカ、ソレヲチヨット伺ッテ置キタイ

○政府委員(窪田靜太郎君) 御尋ノ結核病ハ誠ニ感染力モ強シ、又廣ク國民ニ及ボシテ居ルト云フ害モアル、デ之ヲ處置スルト云フコトハ最モ必要アデ政府モ亦其必要ヲ癩病ヨリモ少ナシ、癩病ホド必要デナイト認メテ居ル譯デハ決シテゴザイマセヌ、併ナガラ癩病モ亦傳染病タルコトハ明ニシテ、而シテ我國ニ於キマシテハ、之ヲ人口比例カラ申シタル社會ニ類ノナシ害毒ヲ逞クシテ居ルト云フコトデハナシ、之ニ對シテハ一ニ其處置ヲ執ラナケレバナラヌト云フコトデゴザイマセヌカラシテ、少クモ此道路ヲ徘徊スル者ヲ制止シテ、一定ノ場所ニ於テ救護シテヤルト云フコトハ、傳染病ヲ豫防シ、及ビ其等ノ憐ムベキ者ニ救療ヲ與ヘ、又風俗外觀ニ於テモ之ヲ取締ラナケレバナラヌト云フコトハ、今日ノ事情ニ於テ是亦決シテ等閑ニ附スベキモノデナイト認メタノデアリマス、加フルニ結核ノ處置ト云フモノハ、必要ハ即チ最モ必要デアリマスルガ、是モ國家ノ力ヲ以テ防禦シテ行クト云フコトノ方策ハ甚タ緩漫デアル、實地上困難ノミナラズ、經費ニ於テモ許サヌ、甚タ多額ヲ要スル、又是ガ爲ニ慘狀ニ陷ル者モアルト云フヤウナコトガ非常ニ多イモノデアルカラ、是ハ餘程十分ナル研究ヲシテ、適當ナル方策ヲ案出スルニアラズンバ、之ニ對スル根本的ノ豫防策ト云フモノハ執リ難イ、ソレデ政府ハ差向キ結核中ノ最モ多キヲ占メテ居ルトコロノ肺結核ニ對シマシテハ、是ガ傳染ノ媒介ヲ爲ス主タル物件タルコロノ、痰唾ノ取締ト云フヤウナコト、其他轉地療養所等ニ於テノ夜具、其他ノ食器等ノ取締、病院ニ於テノ取締等、一例シテ申セバ警察的ニ屬スル事柄ハ前年來實施シ來ッテ居リマス、併シ未ダ之ヲ以テ満足ドコロデハナシ、是ハホソノ「結核」方ノ一般ニ過ギナイ、根本策ニ就キマシテハ、等閑ニシテハ居リマセヌガ、未ダ之ヲ一定ノ案トシテ議

會ニ提出スルト云フ運ビニハ容易ニ參リ難イ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○西山彰君 チヨット御尋シタノデアリマスガ、此癩病ナルモノハ、以前ハ血統病トシテ取締ヲ取ッテ居ッタヤウデアリマスガ、近頃醫術ノ進歩ト共ニ、傳染病アルト云フコトヲ研究セラレ、ソレカラ其豫防方法ヲ講ズルト云フヤウナコトニナッタノデアル、ソレデ唯今ノトコロデハ、マダ其豫防方法モ立タヌモノデアリマスカラ、確ニ御分リニナラヌカ知レマセヌガ、此血統カラ來ルトコロノ病者ト、傳染カラ來ッタコロノ病者トハ、ドウ云フ比較ニナルデゴザイマセウカ、其邊ノ取調ガ出來テ居リマスレバ承リタイ、ソレカラ一ツハ此病氣ト云フモノガ傳染病ナレバ、ドウ云フ所カラ傳染シテ、サウシテ媒介物ナドハ、ドウ云フトコロカラサウ云フコトニナルモノデアルカト云フコト、ソレカラ之ヲ治療スル方法ハドウ云フコトデアラウカ、或ハ初期ニ一 早ク癒シタナラバ治療ノ方法モアルト云フノデゴザイマセウカ、今日ハ未ダ其治療ノ方法ノ適當ナルモノガ、見附カラヌト云フノデゴザイマセウカ、其事ヲチヨット聽イテ置キタイ

○內務技師(野田忠廣君) 癩病ハ昔ニ於テハ遺傳病ト看做サレタノデゴザイマスガ、二十數年以前ニ有名ナル「アーミールハンセン」ト云フ學者ガ其病原菌ヲ發見シマシタ、其以來斯道ノ專門家ノ間ニ於テ鑿索ヲ遂ゲマシテ、今日ハ媒介物ニ就イテハ忽セニスベカラザルコトデアルト云フノデ、現ニ癩者ノ排泄物等ニ就イテモ黴菌ヲ發見シ、之ヲ動物ニ試驗シタリスルコトモ、今日デハ進ンデ來テ居リマスデ、實際ニ依ッテ見マスルト、遺傳ニ依ッテ來ル事柄ガ多イヤウニ見エマスルト云フテハ本病ニ感染致シマシテカヲ發病致シマスル迄ノ、潜伏期ト云フモノガ非常ニ長イ、平均二年カラ長キハ五年ニ涉リマス、ソレデ癩病ノ親ガ子ヲ傳ヘ、其子ガ始終癩病タル親ニ長イ月日ノ間接觸シテ居リマスカラ、感染シマスルトコロノ機會ガ非常ニ多イノデアル、ソレガ第一ノ原因、ソレカラ第二ニハ其體質ニ依ッテ遺傳スルト云フコトデアリマス、黴菌ニ依ッテ傳染病ハ起リマスガ、其他ニ此ノ體質ニ依ッテ即チ癩病ノ如キ、結核ノ如キ親ガ病氣デアリマス、其子ハ詰リ病ニ罹リ易キ體質ヲ遺傳サセルト云フノハ、生レナガラ始終兩親ノ膝下ニ居ッテ、朝カラ晩マデ接觸スル機會ガ多ウゴザイマスカラ、傳染スル者ガ從ッテサウ云フ家族ニ多イノデアリマス、表面上一家親族ヲ犯スモノ、如クニ認メラマセケレドモ、畢竟ハ罹リ易キ體質ヲ持ッテ居ルト、モウ一ツハ傳染スル機會ガ他ニ比シテ多イコトデアラウト思ヒマス、ソコデ本病ノ傳染スル道筋ハ、皮膚ニ斑點ガ出來マシテ、其處ノ場所ガ感覺ガ無クナル、或ハ營養ガ胃サレテ、ソレカラ潰瘍ニ陥リ、濃汁ガ出マス、其濃汁中ニハ無數ノ黴菌ガ含マレテ居リマス、或ハ口腔鼻腔ノ粘膜ニモ同様ノ變化ヲ起シ、痰唾ノ中鼻汁ニモ黴菌ヲ含シテ居リマス、アラユル病者ヲ含シテ居ルモノニ觸レタ物件ハ、傳染ヲ媒介致シマス、患者ニ直接ニ觸レ、バ尙其危險ガ多イノデアリマス、間接ニ觸接ニ依ッテモ傳染致シマス、間接ニ觸接ト云フテハ可笑シイヤウデアリマスガ、患者ノ着タ衣服、又ハ什器々具カラ傳染致シマス、殊ニ貧困ノ生涯ヲ致シテ居ル者、衆人群居シテ下等ノ生活ヲ致スモノハ、此傳染ガ割合ニ多イノデアリマス、ソコデ治療法ニ付イテハ「ハンセン」氏ガ黴

菌ヲ發見シタ以來、専門家が精究ヲ重ネテ居リマスガ、未ダ是ニ向テ適法ノ治療法ヲ發見スルニ至リマセヌ、多ク醫學者ガ癩病ノ特效藥トシテ大楓子油ヲ用井マスケレドモ、是トモ其病氣ヲ根治スルコト云フ望ヲ屬スルコトハ出來マセヌ、將來新發見ノ出來マス迄ハ、現在ノ程度ニ於テハ不治ノモノト見ナケレバナリマセヌ、ソレカラ癩患期間ガ平均十年、若クハ十年以上デアリマス、其病氣ノタメニ死ニ、或ハ神經衰弱ノタメニ早ク死ヌ者モアリマス、現在ニ於キマシテハ殆ド此病氣ニ罹ラタ者ハ、先ヅ助カラスト見ナケレバナリマセヌ

○淺野順平君 此法案ニ依レバ、此治療ノ方法ニ付イテハ第三條ニ「癩病者ニシテ療養ノ途ヲ有セス且救護者ナキモノハ行政官廳ニ於テ命令ノ定ムル所ニ從ヒ療養所ニ入ラシメテ之ヲ救護スヘシ」トアリマシテ、其他ノモノハ別ニ規定シテナイヤウデアリマス、茲ニ貧困者ニ非ズシテ中以下ノモノガ癩病ニ罹ラタ場合ハ、唯醫師ナリ當該官吏ガ其場所ニ出張シテ豫防方法ヲ示ス、即チ隔離ナリ其他ノ方法ニ付イテハ別ニ規定ヲ設ラレマセヌ御積リデアリマスガ、又他ノ省令訓令等ヲ以テ、豫防方法ヲ御示シニナル御考デアリマスガ

○政府委員(窪田靜太郎君) ソレハイッレ省令若クハ訓令ノ如キモノヲ以テ致シマス積リデアリマス

○初木卿太郎君 此第四條デゴザイマスガ、此療養所ハ凡ソ何ヶ所ノ御見込デアリマスガ、併セテ費用ノ御見込ヲ承リタイ

○政府委員(窪田靜太郎君) 凡ソ七ヶ所ニ療養所ヲ設ケタラ宜カラウト思フテ居リマス、ソレハ其土地ノ狀況ニ依リマスガ、聯合致シマシテ療養所ヲ設ケル積リデアリマス、其一箇所ノ費用ガ約三萬三千圓バカリ、七箇所デ二二三萬圓バカリデアリマス、之ニ對シテ國庫ハ六分の一、乃至其二分ノ一ヲ補助スル積デゴザイマス、ソレカラ沖繩縣ハ先ヅ唯今ノ見込ハ三千圓餘リアッタナラバ、其新營費ニ充テルコトガ出來ヤウト思ヒマス、此計算ノ基礎ハ全國デ約二千人ノ救護者ヲ收容シタラ宜カラウト云フ、其見込カラ推シマス、各地ノ療養所ニ對シテ其六分ノ一ヲ國庫カラ補助スルモノトスレバ、國庫ノ補助ハ二四萬圓掛ル積デアリマス

○淺野順平君 此第七條ニ規定シテアル負擔方法ハ、各府縣ノ聯合デアリマスガ、或ハ郡ガデデアリマスガ

○政府委員(窪田靜太郎君) 其組合ノ聯合ノ縣デ、聯合シテ負擔スル積デアリマス

○西山彰君 チョット御尋シタイノデスガ、收容シマスルニハ原籍ニ付イテ收容スルノデゴザイマスガ、又現在行ッテ居ル其土地デ、其者ガ行ッテ居ル其箇所ニ入レルノデアリマスガ、或ハ熊本トカ、四國トカ云フコロハ、四國デ八十八箇所ガアル、熊本デハ清正公ガアルト云フデ、祈念ニ行クト云フデ各府縣皆寄ッテ來ル、ソレハドウ云フコトニナリマスカ、其邊ヲ……

○政府委員(窪田靜太郎君) 見込デハ、ソレハ患者ノ本籍ノ負擔ニスル積リデ、ソレ故ニ原則トシテ本籍ノアル縣ニ設ケテアルトコロノ、療養所ヘ連レテ行クト云フコトニ致ス積リデ、唯事實ニ於キマシテハ、所在縣ト本籍縣トノ申談ニ依リマシテハ、イッソ其所在縣ノ病院ニ依ッテソコヘ入レテ貰ヒ、費用ハ此方カラ送ルト云フヤウナ都合ニ致シ

テモ宜イ、ソレハ其協議ニ任シテ宜カラウト思ッテ居リマス、原則トシテハ則チ詰リ本籍ノ方デ連レ行ッテ、處置スルト云フ見込デ……

○淺野順平君 唯今ノ續キデスガ、政府ハ府縣ヲ聯合セシメテ七箇所ニ置カシムルト云フ、若シ是デケノコトナレバ、府縣ヨリ國家ガ重キヲ擔フヤウデアリマスガ、府縣費カラ出スト云フ趣意ハ如何デアルカ、寧ロ是ハ國費カラ出シテ宜イ、其理由ハ如何、ソレカラ先刻御尋致シタ續キデ、患者ハ癩患者ガ豫防ニ付イテ、或ハ公衆ノ浴湯デアルトカ、或ハ電車ヘ乗ルトカ、車ニ乗ルトカ、若クハ公衆ノ遊覽所ニ此癩患者ガヤハリ是マデノ通り出デモ差支ナイノデアリマスガ、又是等ノ方法モ規定セラル、積デアリマスガ、此二ツヲ……

○政府委員(窪田靜太郎君) 後ノ御尋カラ便宜申上ゲマス、此普通ノ癩病患者ニ對スル豫防上必要ナル制限ヲ加ヘル、御話ノ外其他ノ制限デアリマスガ、豫防上必要ハ必要デアリマスケレドモ、普通ノ傳染病ト違ッテ、其患者自身ノ困難ト云フモノニモ、或程度マデハ同情シナケレバナラヌ次第デアリマス、ソレデ一朝ニシテ直ニ之ヲ豫防上アラユル制限ヲ加ヘテ行カウト云フコトハ、餘程講究スベキコトデアラウト思ッテ居リマスノデ、固ヨリ御列舉ニナリマシタヤウナ事柄ノ或部分ノコトハ、直グニモ施行致ス見込デゴザイマスケレドモ、其他サウ云フ類ノ制限ハ漸次ニ實行シテ參リタイ見込デ居リマスノデ、本案ノ主トスルトコロハ、先以テ此浮浪徘徊シテ病毒ヲ散漫スルト云フ者ヲ處置スル、而シテ其散漫スル病毒ヲ防止スルト云フコトヲ主ト致シマシテ、之ヲ第一着手ノ仕事ト考ヘテ、本案ヲ設ケテ居リマス、而シテ其他ノ患者ニ付キマシテハ、先ヅ今日ノ事情許ス程度ニ於テ實行シテ行キマス見込デ居リマス、ソレカラ之ヲ府縣ノ負擔ニ致スト云フ理由ハ、大幹ニ於キマシテ、此急性ノ傳染病、其他衛生ニ屬スルトコロノ費用ハ、重ニ府縣ノ負擔ニナッテ居リマスデ、是又ヤハリソレト同様ニ、府縣ノ負擔ニスルガ適當デアラウト云フコトニナリマシタ、次第デゴザイマス

○委員長(山根正次君) ドウデス、其他御尋ガアリマセヌカ、此條項ニ付イテハドウデスカ——私チョット御尋ヲ致シマスガ、幸ニ小河君ガ御出デニナリマシタガ、此法案ガ行ハレルニ付キマシテハ、監獄ニ於ケルトコロノ癩患者ノ處置ハ如何ニナルノデアリマスガ、既ニ司法省ノ方ニ於テハ、其監獄ニ對シテ此患者ヲ入レルトコロヲ特別ニ拵ヘラレルカ、或ハ又仕事ヲ與ヘル上ニ於テモ特別ナ室ヲ御増設ニナル御見込デアルカ、ドウデアリマスガ、此項ノ監獄統計表ヲ見マスルト、今現ニ殆ド二百人ノ癩病患者ノ犯罪者ガアルヤウニアリマスガ、サウ云フヤウナ處置ニ付イテハ、司法省ハ既ニ何ゾ宜イ御考ヲ持ッテゴザルカ、今日ハ又如何ナル處置ニ、癩病患者ハ監獄内デ取扱ハレテ居リマスガ、其邊ヲ凡ソ明ニシタイタメニ、ドウカ御答ヲ願ヒタイ

○司法省監獄事務官(小河滋次郎君) 唯今委員長ノ御尋デ、現在將來ニ付イテ御答シマス、實ハ今委員長カラモ御話ノ通ニ、監獄ニ癩病患者ガ非常ニ多イノデ、監獄ニ入ッテ居ル數カラ見マスルト、全國ノ統計ハドウ云フ風ニナッテ居リマスガ、チョット拜見シタノデアリマスガ、豫想外ニ非常ニ多イコトヲ推定シ得ラル、現ニ二百人内外ノ癩患者ガ監獄ニ收容シテ居ル、最モ地方ニ依リマシテ非常ニ多イ少ナイ區別ガアリマスガ、要スルニ各監獄一人二人ノ癩病患者ガアル、多イノハ十八人カラアル所モアル、實ハ此監

獄デハ此患者ノ扱ヒニハ持餘シテ居リマスノデ、無論此刑ヲ執行スル上カラ申シマシテモ、仕事ヲ實行ハ出來ナイ、仕事ヲサセルト云フコトモ出來ヌコトハアリマセヌケレドモ、隔離モシナケレバナラヌ、其製作物ニシマシテモ、之ヲ外ニ出スト云フコトモ出來マセヌ、隨分消毒ヲ行フ、消毒ヲ行フニシテモ十分安心ヲ與ヘルト云フコトモ出來ナイ、寧ろ不完全ノ製作物ナドヲ拵ヘテ、ソレヲ社會ニ毒ヲ流スト云フヤウナ虞ヲ抱カシムルト云フコトハ、餘程考ヘモノデアラウト思ヒマス、ソレ等ノ點ニ付イデモ大ニ苦慮ヲ致シテ居ル、實際扱向ハ今日出來ルダケノ醫學上設備ヲ講シマシテ、隔離モシテ居ル、療養モ施シテアリマスケレドモ、實際ノ模様ヲ御話シマス、癩患者ハ僅ニ監獄ニ來テ療養ガ出來テ居ルト云フニ過ギナイ、却テ外ニ居テ療治モ出來ナイ人間ガ、監獄ニ入ルガタメニ兎ニ角相當ノ治療ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ風ニ、殆ド刑ノ執行ト云フ意味ヲ爲シテ居ラス、例令此法案ガ出來テ、將來十分ノ設備隔離ノコトヲヤル積リデアリマスガ、ヤルニシテモ刑ノ執行ノ側カラ申シマス、殆ド其意味ガナイ、又監獄衛生、公衆衛生ノ上カラ申シテモ、御承知ノ通り多數ノ人ヲ集メテ置ク場所デアリマスカラ、其處ニ三人ナリ一人ナリノ患者ヲ收容シテ、如何ニ隔離シテモ設備シテモ、病毒ノ他ニ感染シナイヤウニ保證ガ出來ルカト云フト、此點ハ大ニ考ヘモノデアリマス、一人ノ患者ガアル結果多數ノ者ニ害ヲ及ボシ、延テハ公衆ノ衛生ヲ害スルト云フ結果ニ立至ルデアラウト思ヒマス、今私ノ考トシマシテハ外國ノ例ニ見テモ外國ナドハ殆ド此癩病患者ヲ監獄ニ收容スルト云フコトガナイ、又癩病患者モ少ナイカラ犯罪者ハ恐ラク癩病患者デナイデアリマセウガ、ツイ私共ノ調べタコト聞イタコトデハ癩病患者ヲ監獄ニ收容シタ例ハナイト云ツテ居ルノデス、蓋シ少ナイカラデアリマセウガ、若シ外國デモ日本ノヤウニ癩病患者ガ監獄ニ澤山來ルナラバ、監獄モ之ヲ收容シマイト思ヒマス、現ニ今日デモ精神病ナドハ、監獄ニ相當ノ程度マデハ療養ヲシマスケレドモ、連モ監獄デ療養ガ居カヌト云フノハ精神病院ニ送ルコトニナツテ居ル、癩病患者モ將來ハ之ニ對スル刑ノ執行ヲ猶豫スルトカ、若クハ猶豫シナイコトデモ、相當ノ執行ノ扱ヲ以テ他ノ相當ノ設備、例ヘバ今度出來ル療養院ト云フヤウナ處ニ收容スルコトニシテ開ケヤシマイト思ヒマス、幸ニ此法案ガ出マシタナラバ、此法律ノ中ニ癩患者ノ犯罪ノ状況ニ依ツテハ、ソレヲ療養院ニ入レル方ガ、刑ノ執行ノ上カラ言フデモ、又公衆衛生ノ上カラ言フデモ其方ガ必要デアル、免モ角監獄デ療養ヲスルト云フコトハ、困難ノ場合ガ多イト思ヒマス、今日デモ相當ノ設備ハシテ居リマス、シテ居リマスケレドモ今御話シタヤウナ事情デ、一人二人ノタメニ、サウ全力ヲ注ギ安全ナコトハ出來ナイ、餘程持餘シテ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒマス——二百人程アリマス

○委員長(山根正次君) 今小河君カラ、後來ニ於テハサウ云フモノハ刑ノ執行ヲシナイデ、直ニ他ノ病院ニ容レテ置クト云フヤウナ御話モアリマシタガ、内務省ノ當局者ニ於テハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○政府委員(窪田靜太郎君) ソレハ刑法ノ方ガサウ云フヤウナコトデ、執行猶豫ヲスルト云フヤウナコトガ出來ル場合ニナリマスレバ、尙ホ司法省トノ協議ノ上ニ、此法案ニ對シテ或ハ單行法ヲ以テ、其刑事ノ癩患者ニ對スル處置ヲスルト云フコトモ必要デアラウト考ヘマスガ、併シ唯今モ申シタヤウニ、凡ソ全國七ヶ所ニ設ケルト云フ位ナ積デアリ

マスカラ、是モ刑事ノ者ヲ其處デ一緒ニト云フコトガ、直グニ出來得ルノガ便宜ナコトデアルカ、或ハソレハ別ニシテ收容スルコトガ便宜デアルカモ知レヌ、其點ハ刑法ガサウ云フ改正ニナリマスレバ、尙ホ攻究ノ上ニ相當ノ處置ヲ執ラヌケレバナラヌト思ッテ居リマス

○委員長(山根正次君) モウ一ツ皆サンニ能ク分ルヤウニシテ置キタイコトハ、外國人ノ癩病患者ハ、日本ノ氣候ノ溫暖ナル爲メカ、或ハ又日本ハ行ツタラ草津ノ溫泉ガ利クトカ云フヤウナ話カラシテ、續々參ルヤウニナリマス、殊ニ私モ昨日橫濱ニ行ッテ其何人居ルカト云フ調モシテ見マシタガ、此癩病患者ノ外國カラ來ルノニ向ッテハ、ドウ云フ方法ヲ以テ此國ニ入ルコトヲ御防ギニナルカ、ソレハ此條項ニアリマセヌカラ明ニ御答置ヲ願ヒタイ

○政府委員(窪田靜太郎君) 外國人ノ處置ニ對シテハ敢テ法律デナクツデモ、是ハ命令ヲ以テモ處置シ得ル事項デアリマスカラシテ、ソレハ勅令位ヲ以テ定メマスル積リデアリマス、其處置ハ外國人ノ此港ニ參リマシタル時ニ、海港檢疫ト同時ニ癩病ノ検査ナドヲシテ、若シ癩患者デアリマシタナラバ、上陸ヲ拒絕スルト云フコトニ致ス積リデアリマス

○委員長(山根正次君) モウ皆サン御質問ハアリマセヌカ——ソレデハ是ヨリ各條ニ移リマス——ドウデスカ、別段御意見ハアリマセヌカ

(全體異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(山根正次君) ソレデハ此十二條ヲ通ジテ……

○西山彰君 私ハ本案ハ今日必要ナル案ト存ジマスノデ、即決シテ協贊ヲ與ヘタイト思ヒマス

(贊成贊成ト呼フ者アリ)

○委員長(山根正次君) ソレデハ委員會ハ全會一致ヲ以テ、此事ヲ決議シタトシテ差支ゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(山根正次君) ソレデハサウ云フコトニ決シマス、是デ散會致シマス
午前十一時四十分散會

明治四十年二月二十日印刷

明治四十年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局